

自然を語る会

日時：2022年11月19日(土) 10:00~12:00

場所：飯田橋ボランティアセンター+Zoom

参加者：17名

担当者：西野 翠さん

### 中村桂子さんの講演会と上遠恵子さんとの対談を終えて

10月1日に開催された中村桂子さんの講演会と上遠恵子さんとの対談を振り返って、参加者の皆様が感じたことについて語り合い、分かち合う会を開催しました。

始めに担当の西野さんから講演および対談の内容について簡潔で分かりやすい説明があり、講演会が蘇ってきたところで、参加者の思いを語り合いました。

#### 【主な感想】

- ・「別の道」に向かって真っすぐな道筋を示すお話だった。
- ・「人間は生きものであり自然の一部である」、「生きものの中の私」、「生きものの力を借りて1つの生の社会全体を保つ」という言葉が印象に残った。
- ・『沈黙の春』から引用されていた、「時こそ、欠くことのできない構成要素」や「結果ではなく過程（プロセス）が大事」という言葉に共感した。
- ・人間は生きものであるということを心から感じる。例えば主婦として毎日生活する中で食べ物の無駄を無くしたり、水を汚さないようにするような感覚が大切だと思った。
- ・「繰り返すことの大切さ・同じことでも発展があること」を教えていただいた。
- ・自然と向き合う時の姿勢、上から目線ではなく中から目線。自然の中にいる自分、40億年という大きな生命の歴史の流れの中にいる自分。という目線で向き合うことの大切さを教えていただいた。自然観察会でも大切にしていきたい。
- ・対談（桂子&恵子）では、お二人が同じ方向・同じ思いを抱いて生きてこられたことが言葉の端々に感じられ、驚きと感動を覚えた。
- ・お二人の体験談から、良い先輩に出会うことが大切だと思った。
- ・戦争経験者のお二人のお話が身に染みた。あらためて戦争は絶対にいけないと思った。
- ・（特に子供たちは）自然の中に飛び込んで自然に触れる・感じる大切だと感じた。
- ・お二人の白髪がとても美しく、パーティーションの白い花と調和して素敵だった。
- ・パーティーションの花や花瓶のひまわりがカーソン協会らしくてとても良かった（演出）。
- ・子供たちや未来の世代に対するメッセージでもあった。中高の生徒に教える立場として、私たちの世代がお二人の意志を受け継いで子供たちに伝えていきたい。

今回の講演会は準備段階から講演会終了まで様々な困難な状況を乗り越えた充実した取り組みとなりました。講演者、スタッフ、参加者の皆様に深く御礼申し上げます。

（文責 柳澤）